

第4次沖縄県がん対策推進計画
(協議会案)
ロジックモデル
【施策のみ】

- | | |
|-----------|----|
| ○がんの予防 | P1 |
| ○がん検診 | P2 |
| ○がん医療提供体制 | P3 |
| ○緩和・支持療法 | P5 |
| ○個別のがん対策 | P7 |

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：がんの予防】

番号	D 個別施策
----	---------------

番号	B 中間アウトカム
----	------------------

番号	A 分野アウトカム
----	------------------

①生活習慣（喫煙）

1	個別施策
1	喫煙者の行動に影響する人達から、喫煙者に対して、タバコと禁煙に関する正しい知識を伝える
2	禁煙希望者を禁煙させる
3	20歳未満の者の喫煙をゼロにする
4	妊娠中の喫煙をゼロにする
5	公共施設等の受動喫煙防止対策を推進する

1	中間アウトカム
1	喫煙率が減少できている

1	分野アウトカム
1	がん種別（胃・大腸・肺・女性乳房・喫煙関連・肝・ATL・子宮頸部）罹患率が減少できている

②生活習慣（飲酒）

2	個別施策
1	ハイリスク飲酒者に対する簡易介入を行う

2	中間アウトカム
1	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者が減少できている

③感染症対策について（HPV）

3	個別施策
1	9価HPVワクチンの定期接種を推進する
2	定期接種及びキャッチアップ接種の対象者に対して、HPVワクチンに関する適切な情報提供に基づく正しい理解の促進を行う

3	中間アウトカム
1	HPV感染率の低下ができている

④感染症対策について（肝炎）

4	個別施策
1	HBVの予防接種法に基づく定期接種を推進する
2	肝炎ウイルス検査体制を充実させる
3	肝炎ウイルス陽性者への受診勧奨を行う

4	中間アウトカム
1	B型・C型肝炎ウイルス陽性者数の減少ができている

⑤感染症対策について（HTLV-1）

5	個別施策
1	妊婦に対するHTLV-1抗体検査と保健指導を行う
2	保健所においてHTLV-1抗体検査と相談指導を行う

5	中間アウトカム
1	HTLV-1 感染者数の減少ができている

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：がん検診】

番号	D 個別施策
----	---------------

番号	B 中間アウトカム
----	------------------

番号	A 分野アウトカム
----	------------------

①科学的根拠に基づくがん検診の実施について

1	個別施策
1	指針に基づいたがん検診のみを行う
2	指針に基づかないがん検診を中止する

1	中間アウトカム
1	科学的根拠に基づいた検診の実施が できている

1	分野アウトカム
1	検診がん種の早期がん（上皮内がん +限局割合）割合が増加できている

②がん検診の精度管理等について

2	個別施策
1	行政担当者、保健所職員、検診機関の職員等は、国等が企画する研修会を受講する
2	受診率向上と精度管理のために県は研修会を開催し、市町村等の担当者は研修会等を受講する
3	県は、がん登録情報等を活用したがん検診の精度管理について、市町村へ技術的支援等を行う
4	県は、精密検査受診率の低い市町村の実態把握を行い、それらに関する指導・助言等を行う
5	市町村は、指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上を行う
6	職域を含めた、がん検診の実施者による分かりやすい情報提供を推進する

2	中間アウトカム
1	検診の質の管理体制の構築と精度向上が できている

③受診率対策について

3	個別施策
1	受診率向上に向けて、がん検診受診率をより正確かつ精緻に、また、個人単位で把握することができるように検討する
2	市町村及び県が連携して、より科学的かつ効率的な受診勧奨策（コール・リコールなど）を推進する
3	市町村及び県は、受診者の立場に立ったがん検診を受診する上での利便性の向上を行う
4	市町村は、啓発のための研修会等を行う
5	県は、職域等におけるがん検診や人間ドックについて、実施状況の継続的な把握に務める

3	中間アウトカム
1	科学的根拠に基づく受診勧奨を行い、 検診受診率の増加ができている

ロジックモデル・指標セットフォーマット【分野名：がん医療提供体制】

番号	D 個別施策
----	---------------

番号	B 中間アウトカム
----	------------------

番号	A 分野アウトカム
----	------------------

①医療提供全般

1	個別施策
1	沖縄県は、必要に応じたがん医療の集約化を行う
2	すべての医療機関において、患者に対するインフォームドコンセントを適切に実施する
3	「施設」では、患者に対するセカンドオピニオンの提示などを適切に実施する
4	すべての医療機関において、患者に対するアドバンスケアプランニングを適切に実施する
5	感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制を確保するための、全県および各二次医療圏におけるBCP（事業継続計画）について整備する
6	「施設」同士および「施設」とそれ以外の医療機関等の連携を行う

1	中間アウトカム
1	「がん診療を行う医療施設」（以下「施設」）では、医療機関の機能分担を通じた質の高い安心な医療の効率的な提供ができています

1	分野アウトカム
1	全県的ながん診療の質の向上と均てん化ができています

②病理診断

2	個別施策
1	「施設」では、質の高い病理診断や細胞診断を行う

2	中間アウトカム
1	タイムリーな病理診断ができています

③がんゲノム医療

3	個別施策
1	必要な患者に対し、適切なタイミングで、がん遺伝子パネル検査等及びその結果を踏まえた治療を行う

3	中間アウトカム
1	必要な全ての患者に、がん遺伝子パネル検査が行われ、その結果に基づいて治療が選択できています

④手術療法

4	個別施策
1	必要な資格を持った専門家が計画的に養成を行い、「施設」に必要な応じて配置する
2	「施設」では、標準治療を質が高く安全に実施する
3	高い技術を要する手術療法について、集約化を行う

4	中間アウトカム
1	必要な患者に対して、最適な手術が、タイムリーで質が高く、安全に実施できています

ロジックモデル・指標セットフォーマット【分野名：がん医療提供体制】

番号	D 個別施策
----	--------

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

⑤放射線療法

5	個別施策
1	必要な資格を持った専門家を計画的に養成し、「施設」に必要なに応じて配置する
2	放射線療法が可能な全ての医療機関において、IMRTを含む標準治療を行う
3	「施設」では、粒子線治療や核医学治療、ホウ素中性子捕捉療法等について、適切に患者を紹介する

5	中間アウトカム
1	必要な患者に対して、最適な放射線治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施できている

⑥薬物療法

6	個別施策
1	必要な資格を持った専門家を計画的に養成し、「施設」に必要なに応じて配置する
2	「施設」では、標準治療を、質が高く安全に実施する
3	拠点病院等では、並存疾患のある患者に対する薬物療法を安全に実施する
4	県民に、薬物療法等に関する正しい情報提供を行う

6	中間アウトカム
1	必要な患者に対して、最新の知見に基づく、最適な薬物療法が、タイムリーで質が高く、安全に実施できている
2	県民が免疫療法に関する正しい情報を取得できている

⑦チーム医療の推進

7	個別施策
1	「施設」では、医療者のあいだの情報共有をする
2	「施設」では、院内や地域の歯科医師、歯科衛生士等と連携し、医科歯科連携によるがん患者の口腔の管理を行う
3	「施設」では、栄養サポートチーム等の専門チームと連携し、栄養指導や管理を行う

7	中間アウトカム
1	医療者のあいだの情報共有ができている
2	医療者、特に医師とそれ以外の医療者のあいだでのコミュニケーションができています

⑧医療実装

8	個別施策
1	「施設」では、新規に認可された医薬品、医療機器及び医療技術を速やかに患者に提供する
2	「拠点病院等」では、治験も含めた医薬品等の臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行い、患者を紹介する

8	中間アウトカム
1	新規に認可された医薬品、医療機器及び医療技術が、沖縄県内において速やかに患者に提供され、希望する患者が治験等に参加できている

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：緩和・支持療法】

番号	D 個別施策
----	---------------

番号	B 中間アウトカム
----	------------------

番号	A 分野アウトカム
----	------------------

①緩和ケア

1	個別施策
1	「施設」では、主治医を中心とした、組織化した緩和ケアを提供する
2	すべての医療機関において、がん患者が、医療者に苦痛の表出ができるようにする
3	「施設」では、専門的な緩和ケアを提供できる人材とチームを整備する
4	県民の緩和ケアへの理解度を向上させる

1	中間アウトカム
1	がん患者及びその家族の苦痛の軽減ができ、QOLが向上できている
2	緩和ケアの質の向上ができている

1	分野アウトカム
1	全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができている

②在宅医療

2	個別施策
1	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合を増加させる
2	在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度を向上させる
3	在宅医療を提供できる必要な資格を持った専門家を計画的に養成し、必要に応じて配置する

2	中間アウトカム
1	患者に切れ目のない医療・ケアが提供できている
2	希望する患者の在宅医療への移行が十分にできている

③リハビリテーション

3	個別施策
1	すべてのがん患者に対して、リハビリが必要かどうかの評価をする体制が整え、その結果を踏まえたリハビリを施行する

3	中間アウトカム
1	【施設】では、必要な全ての患者に、適切なリハビリテーションができている

④支持療法

4	個別施策
1	患者が、治療に伴う副作用・合併症・後遺症への見通しを持ち、身体的苦痛や外見の変化等があった際に容易に相談できる環境を整備する
2	【施設】では、各種ガイドラインに基づく支持療法を、組織的に行う体制を整備する

4	中間アウトカム
1	【施設】では、各種ガイドラインに基づく十分な支持療法が行われている

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：緩和・支持療法】

番号	D 個別施策
----	---------------

番号	B 中間アウトカム
----	------------------

番号	A 分野アウトカム
----	------------------

⑤妊孕性温存療法

5	個別施策
1	がん患者・家族が、生殖機能への影響についての情報提供を十分に行う
2	妊孕性温存療法に関する体制を整備する
3	がん治療後の生殖医療に関する体制を整備する

5	中間アウトカム
1	妊孕性温存療法及びがん治療後の生殖補助医療が十分に行われている

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：個別のがん対策】

番号	D 個別施策
----	--------

①希少がん

1	個別施策
1	希少がん患者及びその家族に対して、十分な情報を提供する
2	希少がん患者及びその家族に対して、十分な相談支援を提供する
3	希少がん患者を、速やかに琉球大学病院または県立中部病院に紹介する
4	希少がん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療を、タイムリーで質が高く、安全に実施する

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

1	中間アウトカム
1	希少がん患者の生存率の改善ができている
2	希少がん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができている

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

1	分野アウトカム
1	がんの種類、年代、住んでいる地域に拘わらず、がん診療の質の向上ができている
2	がんの種類、年代、住んでいる地域に拘わらず、全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができている

②難治性がん

2	個別施策
1	難治性がん患者及びその家族に対して、十分な情報が提供する
2	難治性がん患者及びその家族に対して、十分な相談支援が提供する
3	県内の医療機関について、難治性がん診療における適切な役割分担を行う
4	難治性がん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施する

2	中間アウトカム
1	難治性がん患者の生存率の改善ができている
2	難治性がん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができている

③小児がん

3	個別施策
1	小児がん患者及びその家族に対して、十分な情報を提供する
2	小児がん患者及びその家族に対して、十分な相談支援を提供する
3	小児がん患者が、速やかに琉球大学病院または県立こども医療センターに紹介する
4	小児がん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施する
5	小児がん患者に対して、晩期合併症の検索も含めて、長期フォローアップを行う
6	小児がん患者に対して、治療と並行した学業の継続、治療終了後の進学や就職に対するの支援を行う
7	小児がん患者の家族、特に両親や同胞への支援を行う

3	中間アウトカム
1	小児がん患者の生存率の改善ができている
2	小児がん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができている

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：個別のがん対策】

番号	D 個別施策
----	--------

④ AYA世代のがん

4	個別施策
1	AYA世代のがん患者及びその家族に対して、十分な情報を提供する
2	AYA世代のがん患者及びその家族に対して、十分な相談支援を提供する
3	AYA世代のがん患者が、速やかにがん診療連携拠点病院（以下、拠点病院）に紹介する
4	AYA世代のがん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療が、タイムリーで質が高く、安全に実施する
5	AYA世代のがん患者に対して、晩期合併症の検索も含めて、長期フォローアップを行う
6	AYA世代のがん患者に対して、治療と並行した学業や就労の継続、治療終了後の進学や就職に対する支援を行う
7	子供がいるAYA世代のがん患者に対して、その子供に対する支援を行う

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

4	中間アウトカム
1	AYA世代のがん患者の生存率の改善ができています
2	AYA世代のがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができています

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

⑤ 高齢者のがん

5	個別施策
1	地域の医療機関やかかりつけ医、在宅療養支援診療所、訪問看護事業所等の医療・介護を担う機関、関係団体、地方公共団体等と連携し、高齢者のがん患者やその家族等の療養生活を支えるための体制を整備する
2	療養場所の選択も含めて、すべての高齢者のがん患者に、適切な意思決定支援と適切なアドバンスケアプランニングを行う
3	高齢者機能評価および依存疾患の評価の結果と、患者の意向を十分に配慮したうえで、種々のガイドラインに準拠した最適な治療が安全に実施する
4	高齢者のがん患者をもつ家族の介護負担感を軽減する

5	中間アウトカム
1	高齢者のがん患者の生存率の改善ができています
2	高齢者のがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができています

⑥ 離島・へき地

6	個別施策
1	正しい情報を基に、患者が自ら選択した医療機関で受診する
2	地域がん診療病院では、拠点病院と連携し、標準治療を行う

6	中間アウトカム
1	離島・へき地のがん患者の生存率の改善ができています
2	離島・へき地のがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができています

ロジックモデル・指標セット フォーマット 【分野名：個別のがん対策】

番号	D 個別施策
3	離島・へき地において提供できない医療がある場合に、本島への渡航費用等の助成など経済的な支援を行う

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

番号	A 分野アウトカム
----	-----------